

鹿児島県立病院群

基幹病院（県立大島病院）の概要

所在地 〒894-0015 奄美市名瀬真名津町18番1号
開設者 鹿児島県
開設年月日 明治34年3月29日
病院長 石神 純也
病床数 350床
診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、人工透析内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科（休止）、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、精神科
医師数 76名（常勤56名、非常勤20名）[R7.4.1現在]
指導医数 17名
1日平均外来患者数 464.2人（令和6年度実績）
1日平均入院患者数 213.8人（令和6年度実績）



臨床研修プログラムの目的と特徴

地域に根ざした、実践力のある臨床医へ

本プログラムでは、幅広い疾患に対応できるプライマリ・ケアの習得を基本とし、地域の第一線で活躍できる臨床医の育成を目指しています。研修後半では、将来の目標に応じて、希望分野における専門的な知識・技術を修得できます（40週以上の専攻科）。研修は大島病院を基幹病院とし、南北600kmの県内各地にある協力病院・協力施設と連携した研修体制で、臨床医としての社会的責任や考え方を涵養します。

また、地域ごとの実情に応じた診療を体験できるプログラムを用意しており、地域医療への理解を深めることができます。

さらに、平成26年6月から「地域救命救急センター」と同時に運用を開始した「臨床研修センター」では、医療シミュレーターを用いた本格的な臨床トレーニングが可能です。

平成28年12月からは奄美ドクターヘリの基地病院として、離島医療・救急医療の最前線を実体験することができます。
県立病院事業管理者 原口 優清
県立大島病院院長 石神 純也

臨床研修スケジュール

令和8年度から研修プログラムがリニューアル!!

※ 現在、鹿児島県へ申請中

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週以上)						救急分野 (12週以上)			外科 (4週以上)	小児科 (4週以上)	精神科 (4週以上)
2年目	大島病院											
	地域医療 (4週以上)	選択診療科 (1) (12週以上)			産婦人科 (4週以上)		選択診療科 (2) (28週以上)					
	選択	県立病院			県立病院		選択					

※ 上記のスケジュールは一例です。個人の希望に応じたプログラムを作成できます。

県立大島病院での研修期間1年以上（1年のうち3か月以上かつ2年で12か月以上）

(1) 必修診療科

外科：大島病院、鹿児島医療センター、薩南病院から選択
小児科：大島病院、鹿児島医療センター、薩南病院から選択
産婦人科：大島病院、鹿児島医療センター、薩南病院から選択
精神科：始良病院、鹿児島大学病院、奄美病院

地域医療：

県立病院：鹿児島医療センター、薩南病院、北薩病院
民間病院：大島郡医師会病院、名瀬徳洲会病院
公的病院：南さつま市坊津病院、枕崎市立病院
診療所：みんなの診療所
瀬戸内町へき地診療所



(2) 選択診療科

選択診療科 (1)：県立病院のうち1か所まで研修

選択診療科 (2)：県立病院または協力型病院等から複数選択可

国立大学法人：鹿児島大学病院

独立行政法人：鹿児島医療センター、横浜医療センター（神奈川県）

公的病院：鹿児島市立病院（8週以内）、淡路医療センター（兵庫県）、水戸協同病院（茨城県）

民間病院：南風病院

その他：県内保健所（4週以内。県立病院での研修中または研修翌月に最も近い保健所）

研修協力病院・研修協力施設

県立病院群 鹿児島医療センター、県立薩南病院、県立北薩病院、県立始良病院

研修協力病院（9病院） 鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、南風病院、奄美病院、名瀬徳洲会病院、淡路医療センター（兵庫県）、水戸協同病院（茨城県）、横浜医療センター（神奈川県）

研修協力施設（9施設） 枕崎市立病院、大島郡医師会病院、南さつま市立坊津病院、瀬戸内町へき地診療所、名瀬保健所、鹿児島保健所、加世田保健所、始良保健所、みんなの診療所

新専門医研修プログラム

精神科領域専門医研修プログラム（県立始良病院）

病院のアピールポイント



多くのへき地や離島を有する鹿児島県において、5つの県立病院は、地域の中核的医療機関として、地域医療を守る一翼を担っています。
平成28年12月からは、大島病院を基地病院として、全国で48機目となる奄美ドクターヘリの運航を開始し、奄美地域における救急医療体制の充実・強化に努めています。
本研修プログラムでは、県立5病院に加え、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、南風病院など研修協力18病院等の特色・得意分野を活かし、へき地医療から高度・救急医療まで、地域医療の総合的な研修が可能です。
また、40週以上の選択科目により、将来のキャリアに合わせた専門的知識や技術を習得できるとともに、ICLS資格取得や手技を中心とした研修合同セミナーなど、研修機会も充実しており、プライマリ・ケアに必要な実践的な臨床能力が身に付きます。
地域医療に関心のある皆さん、あなたの医師生活の第一歩を地域医療の最前線で踏み出していませんか。私達は力を挙げてサポートします。

【離島での研修生活とメッセージ】 横口 友輔（出身大学：自治医科大学（R6.3卒業） 出身地：佐賀県唐津市 趣味：釣り）

○私の研修プログラム～県立大島病院での研修の魅力～

奄美大島は鹿児島本土と沖縄本島の間には位置しており、離島として全国第2位の面積を誇ります。県立大島病院は全国最難治の救命センターを有する施設として、その奄美群島約10万人の生活を支えています。

都市部では病院ごとの機能分化がはさまっていることも多いですが、奄美大島の医療の中核を担う当院では1次から3次まで偏りなく幅広い症例を経験できることが魅力です。

また、初期対応は上級医の指導の下、研修医が率先して行うため、より実践的な経験を積むことができます。2年目にはドクターヘリも経験することができます。

○1日の研修スケジュール

（総合診療科）

8:00 朝カンファレンス（任意参加）

当直帯で経験した症例のプレゼンテーションを行い、診療の振り返りを行います。上級医からのフィードバックをもらい、今後の診療につなげます。

8:30 病棟回診・病棟業務、外来診療

入院患者の病棟管理を中心に、ときには初診外来の診療を行うこともあります。Commonな疾患から化学療法まで、幅広い症例で経験を積むことができます。もちろん手技も研修医の出番です。

15:00 カンファレンス

チーム間で入院患者の共有を行い、治療方針等について協議します。研修医はショートプレゼンテーションを行います。大学とのオンラインカンファレンスもしています。

17:00 研修医ミーティング・レクチャー

論文の抄読会やケースカンファレンス、各科講義、縫合やCV等手技レクチャーまで多岐にわたるレクチャーを受けることができます。

○休日の過ごし方

夏は毎週のように海に出向き、シュノーケリングやダイビング、釣り、同期とBQをするなど様々なアクティビティを楽しんでいます。「奄美シーカヤックマラソン」や島の夏祭りにも参加しました。冬はホエールウォッチングも楽しめます。

ちょっと離れた日にはらっと海と星を眺めに行くだけでも疲れが吹き飛びますよ。

東京・大阪・福岡・沖縄への直行便もあるので、週末は県外への旅行や学会に参加することもできます。

○最後に（医学生に向けて一言）

「東洋のガラパゴス」とも称される奄美大島で充実した2年間を過ごしてみませんか。どうか皆さんと一緒に学べる日々を楽しみにしています。



○大島病院臨床研修センターブログ
医療人育成に関する取組みや各種レクチャー動画などを紹介しています。



初期研修医処遇

身分	会計年度任用職員	加入保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、病院賠償責任保険
基本給	1年次 月額15,800円(月20日勤務の場合、月額316,000円)	加入保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、病院賠償責任保険
	2年次 月額16,600円(月20日勤務の場合、月額332,000円)	当直手当	19,000円/回
賞与	1年次 2年次 年額948,000円以内 ※	通勤手当	有り
	2年次 2年次 年額1,494,000円以内 ※	宿舎	宿舎あり(入居料:月1万円程度)
出張	研修会等への参加有り(旅費支給有り)	その他手当	超過勤務手当
休暇	年次有給休暇(1年次10日、2年次11日) 夏期休暇(年5日)	その他	病院見学は随時受け付けています。また、病院見学の際の旅費の一部を助成しています。(ただし、4年生以上) ※賞与額は、県立病院で勤務した期間(月数)に応じて変動します。

募集要項

募集定員 8名
応募資格 第120回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和7年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 1回目：令和7年7月8日（火）
2回目：令和7年8月4日（月）
試験日程 1回目：令和7年7月22日（火）
2回目：令和7年8月18日（月）
試験内容 面接
※詳細は、県立病院局ホームページで公表

応募連絡先

所在地 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
担当部署 県立病院課 経営企画班
電話 099-286-2820
FAX 099-286-5566
E-mail byouins@pref.kagoshima.lg.jp
URL http://hospital.pref.kagoshima.jp/recruitment.html